

ドクターヘリ

重症者救う最強チーム

【岡山市・陵南小6年、奥田梨央】
私は救急車よりもっと早く患者のもとに駆けつけるドクターヘリに興味を持ち、川崎医科大学大付属病院（倉敷市松島）で救急医療に携わるフライトドクターの高橋治郎医師（42）取材した。

ドクターヘリでは医師と看護師だけが患者に関わると思っていたが、パイロットや整備士、天候の情報などを管理する運航管理者といった、たくさんの方が患者を救うために努力していると聞いた。

搬送される人は重症者が多く、できるだけ早い治療が必要だ。現場の救急隊員や搬送先の病院の救急医とも連携しなければならぬ。「いろんな分野のスペシャリストが集まって患者さんに対応するのでコミュニケーション力がとても重要」と高橋先生は言う。

どんな人がこの仕事に向いているかと聞くと、ユニホームにつけているワッペンを外して見せてくれた。そこには「COOL HEADS AND WARM HEARTS」とあった。冷静な判断力と温かい心を持つスペシャリストが集まった「最強のチーム」により、これからも多くの患者が救われることを私は願っている。そして私も人に優しく、困っている人がいたら率先して助けてあげられる人になりたいと思った。



川崎医科大学大付属病院で待機するドクターヘリの前に立つ高橋医師



奥田梨央さん